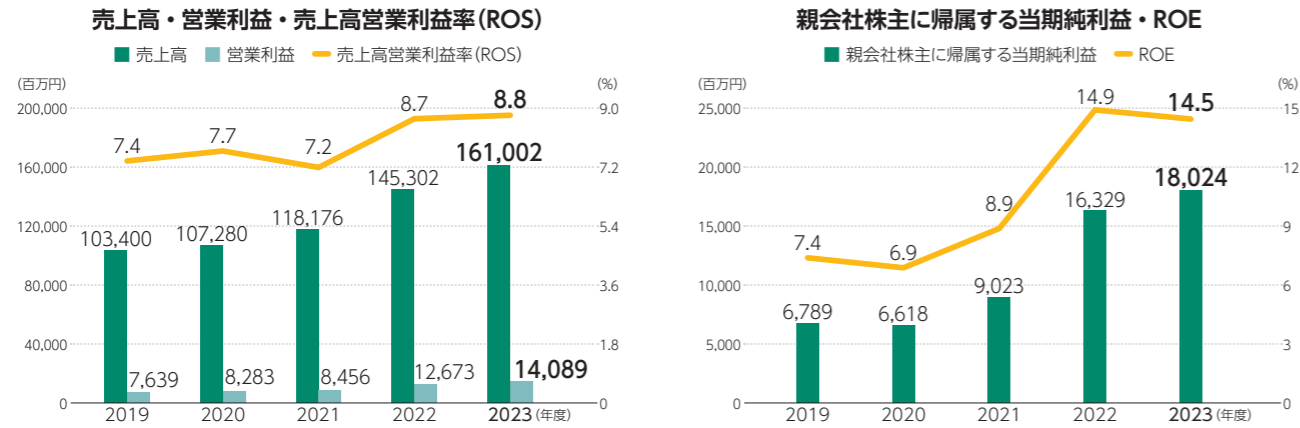


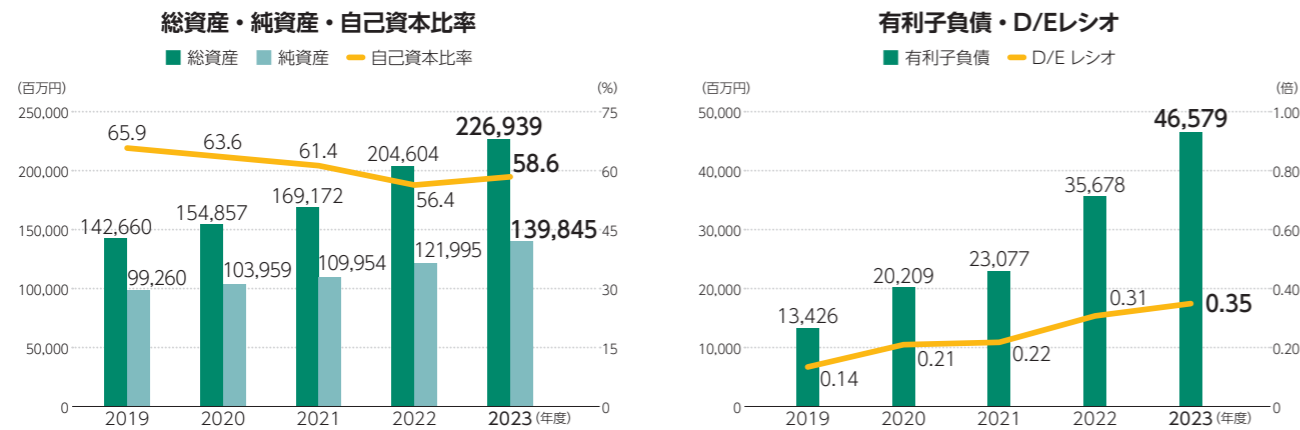
▶収益の状況

売上高、営業利益は中期経営計画(2021-2023年度)目標を2年目で達成し、最終年には過去最高収益を記録。ROEも利益確保、資本政策への着実な取り組みにより目標を達成。2023年度はアクシーブ®の好調な販売に加え、円安や持分法投資利益の増加により高い利益水準を維持しています。



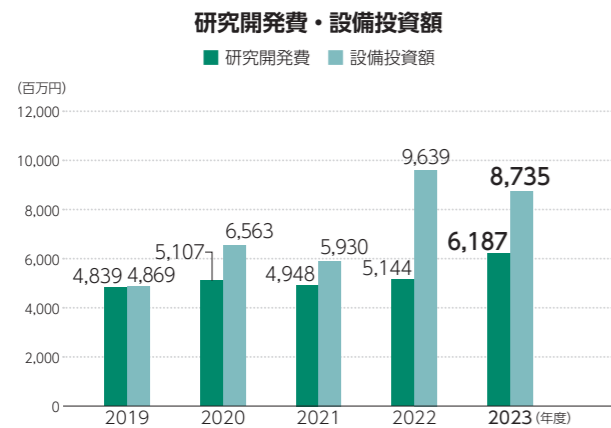
▶資産と調達状況

売上拡大に伴う運転資金の需要増により有利子負債は増加傾向にあるものの、自己資本比率やD/Eレシオといった財務健全性を示す安全性に関する項目の数値は相応な水準で推移しました。



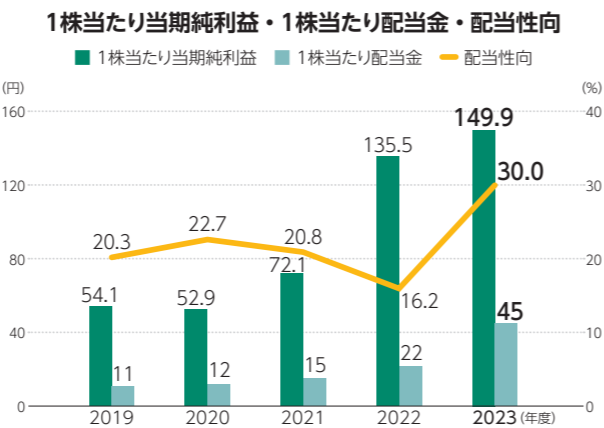
▶投資の状況

新化学研究所(ShIP)建設や工場のプラント新設などを実施。新開発に向けた研究開発投資も積極的に実施しています。



▶株式還元状況

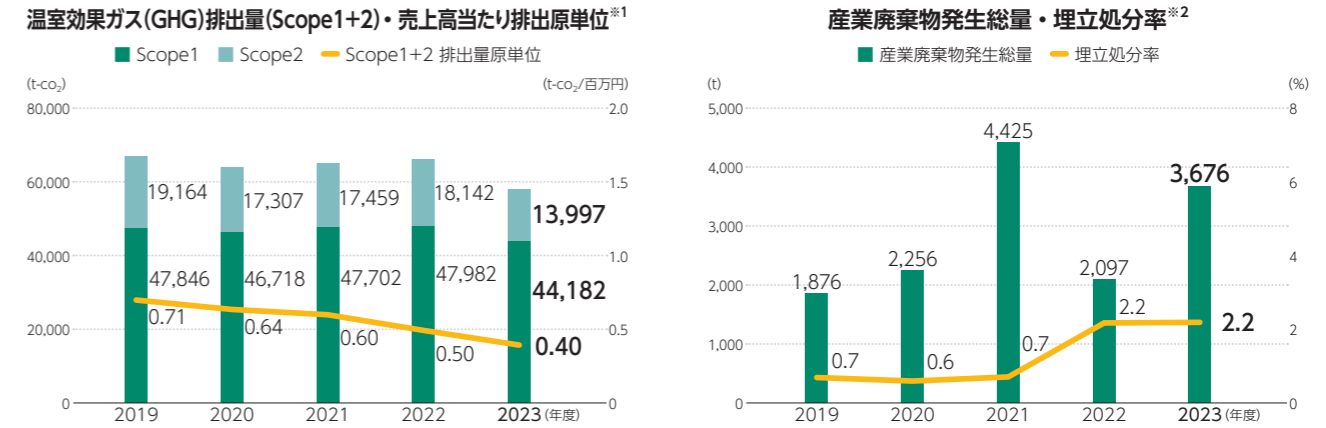
2023年度は大幅な増配を実施。新中期経営計画(2024-2026年度)では配当性向30%以上を安定して達成することを目標に設定しています。



▶環境への影響

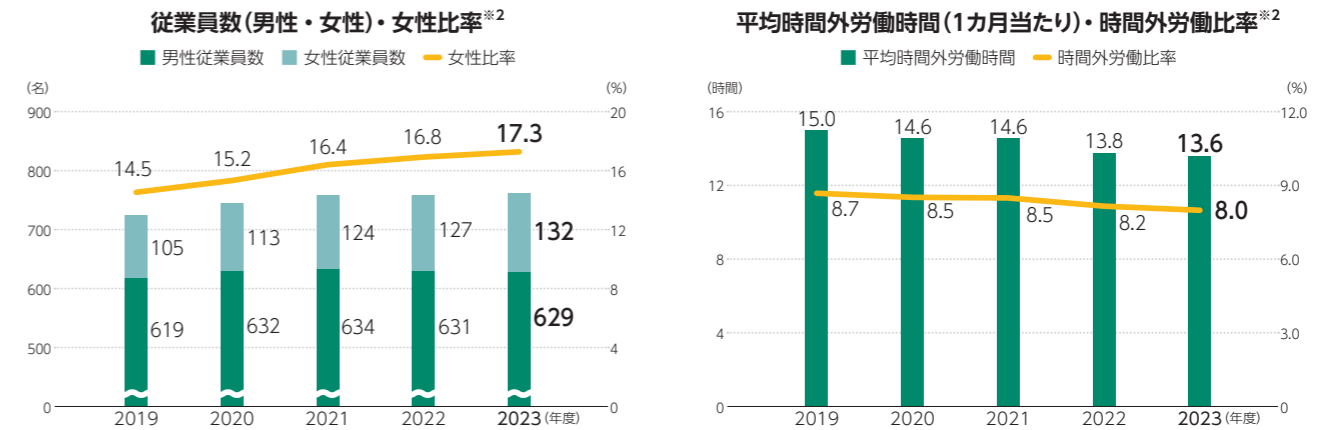
2023年度売上高は、2019年度比で約56%増加していますが、GHG排出量は同年度比約13%減少しており、目標達成に向けて順調に推移していると考えます。

(注) Scope 1.2のGHG排出量をグループ7社を対象に2030年までに2019年度比30%削減とする目標

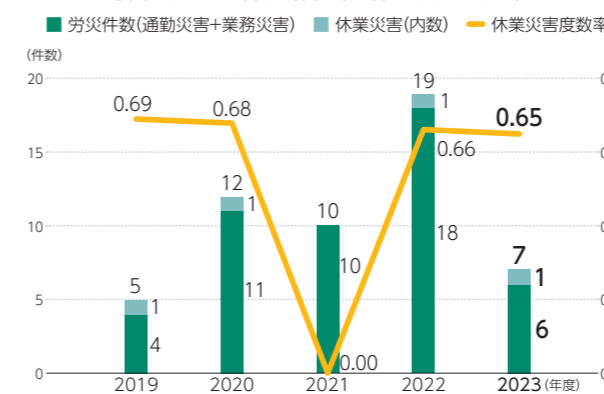


▶人財戦略ビジョンに向けて

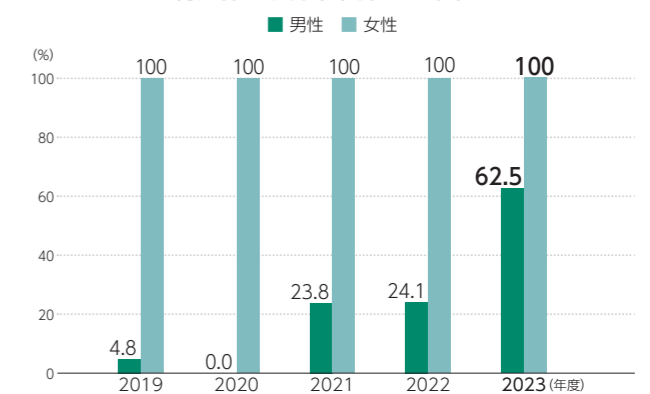
「クミアイ化学グループ人財マネジメントに関する基本方針」に基づき、中期経営計画の「人財戦略ビジョン」に掲げるダイバーシティ&インクルージョンおよびワークライフバランスの推進を図ります。



労働災害発生件数(新規)・休業災害度率*



育児休業取得率(男性・女性)*



*1: 連結7社(クミアイ化学工業、理研グリーン、イハラニッケイ化学工業、ケイ・アイ化成、イハラ建成工業、尾道クミカ、クミカ物流)

*2: クミアイ化学工業単体 *3: クミアイ化学工業単体の直接雇用者を対象